



2026年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月4日

上場会社名 株式会社薬王堂ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 7679 URL <https://www.yakuodo-hd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西郷 辰弘
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 西郷 泰広 (TEL) 019-621-5027
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第1四半期の連結業績(2025年3月1日～2025年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第1四半期	39,408	7.6	1,506	7.3	1,557	5.0	1,114	8.5
2025年2月期第1四半期	36,625	8.4	1,403	3.9	1,483	2.9	1,027	4.4

(注) 包括利益 2026年2月期第1四半期 1,115百万円(9.1%) 2025年2月期第1四半期 1,022百万円(8.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第1四半期	56.90	—
2025年2月期第1四半期	52.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期第1四半期	85,939	37,632	43.8
2025年2月期	79,976	37,065	46.3

(参考) 自己資本 2026年2月期第1四半期 37,632百万円 2025年2月期 37,065百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	0.00	—	28.00	28.00
2026年2月期	—	—	—	—	—
2026年2月期(予想)	—	0.00	—	29.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想(2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	84,200	9.6	3,700	16.3	3,800	14.1	2,650	12.2	135.24
通期	168,200	10.7	5,750	4.9	6,050	4.7	4,400	2.9	224.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年2月期1Q	19,740,219株	2025年2月期	19,740,219株
② 期末自己株式数	2026年2月期1Q	145,229株	2025年2月期	145,229株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年2月期1Q	19,594,990株	2025年2月期1Q	19,594,990株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
3. その他	8
(1) 仕入および販売の状況	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、賃上げによる雇用・所得環境の改善や、各種経済政策の効果により、景気は緩やかな回復が続いているものの、海外景気の下振れリスクや、継続的な物価上昇、金利上昇などによる企業の経済活動や個人消費への影響が懸念されるなど、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属するドラッグストア業界においては、食品を中心とした品揃えや価格の強化により需要増加が見られるものの、物価上昇に伴う消費者の節約志向は継続しており、経営環境としては厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは2025年4月に中期経営計画を策定し、5つの重点戦略を推進してまいります。特に「出店戦略」では、基盤となる東北エリアでの出店強化に加え、関東エリアへの初出店を実現し、岩手県1店舗、青森県1店舗、秋田県1店舗、宮城県1店舗、栃木県2店舗の合計6店舗のドラッグストアを新規出店いたしました。この結果、第1四半期連結会計期間末の店舗数は409店舗（うち調剤併設型4店舗、調剤専門薬局1店舗）となりました。また、「店舗戦略」の一環として、青森県と宮城県を中心に15店舗の改装を実施し、レイアウト標準化を着実に進めております。さらに、販売価格や品揃えの強化による来店客数および買上点数の増加を図る一方で、店舗作業の削減や物流効率化によるローコストオペレーションも推進しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は394億8百万円（前年同四半期比7.6%増）、営業利益は15億6百万円（前年同四半期比7.3%増）、経常利益は15億5千7百万円（前年同四半期比5.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億1千4百万円（前年同四半期比8.5%増）となりました。

なお、当社グループはドラッグストア事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいためセグメント情報の記載を省略しております。主要なドラッグストア事業における部門別の業績は次のとおりです。

① ヘルス

医薬品は感冒薬やドリンク剤等が伸張し、衛生用品では生理用品等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比1.7%増加し、64億6千1百万円となりました。

② ビューティ

化粧品は基礎化粧品やポイントメイク等が伸張し、トイレットリーではヘアケアやオーラルケア等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比6.9%増加し、52億5千7百万円となりました。

③ ホーム

日用品は衣料洗剤や柔軟剤等が伸張し、バラエティ部門はペット関連商品等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比7.6%増加し、82億9千7百万円となりました。

④ フード

食品は日配品や冷凍食品、嗜好品等が伸張し、酒類ではビール類や酎ハイ等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比10.0%増加し、193億3千1百万円となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、859億3千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ59億6千2百万円の増加となりました。

流動資産は430億4千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ39億7千8百万円増加しました。主な増加要因は、現金及び預金が5億1千8百万円増加、商品が26億円増加したことがあげられます。

固定資産は428億9千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億8千3百万円増加しました。主な増加要因は、新規出店や改装等により有形固定資産が15億8千7百万円増加したことがあげられます。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、483億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ53億9千5百万円の増加となりました。

流動負債は298億2千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億4千8百万円増加しました。主な増加要因は、買掛金が23億4千3百万円増加したことがあげられます。

固定負債は184億8千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億4千6百万円増加しました。主な増加要因は、長期借入金が17億9百万円増加したことがあげられます。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、376億3千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億6千7百万円の増加となりました。主な増加要因は、利益剰余金が5億6千6百万円増加したことがあげられます。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績は概ね計画通りに推移しており、現時点において2025年4月7日に公表しました業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,166	7,684
売掛金	1,845	2,510
商品	27,725	30,326
その他	2,327	2,521
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	39,064	43,042
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	28,429	28,699
土地	619	619
その他（純額）	5,192	6,509
有形固定資産合計	34,241	35,828
無形固定資産	615	796
投資その他の資産	6,055	6,271
固定資産合計	40,912	42,896
資産合計	79,976	85,939
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,229	19,572
1年内返済予定の長期借入金	3,158	3,587
未払法人税等	883	576
契約負債	937	940
賞与引当金	635	386
店舗閉鎖損失引当金	27	26
その他	3,601	4,732
流動負債合計	26,473	29,822
固定負債		
長期借入金	11,013	12,722
資産除去債務	1,855	1,873
その他	3,568	3,887
固定負債合計	16,437	18,484
負債合計	42,911	48,306
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	2,311	2,311
利益剰余金	34,955	35,521
自己株式	△300	△300
株主資本合計	37,066	37,632
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	△0	△0
純資産合計	37,065	37,632
負債純資産合計	79,976	85,939

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
売上高	36,625	39,408
売上原価	28,749	30,784
売上総利益	7,876	8,623
販売費及び一般管理費	6,472	7,117
営業利益	1,403	1,506
営業外収益		
受取利息	3	3
受取事務手数料	47	48
固定資産受贈益	8	11
その他	37	34
営業外収益合計	97	97
営業外費用		
支払利息	16	37
その他	0	7
営業外費用合計	17	45
経常利益	1,483	1,557
税金等調整前四半期純利益	1,483	1,557
法人税、住民税及び事業税	502	549
法人税等調整額	△46	△106
法人税等合計	455	442
四半期純利益	1,027	1,114
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,027	1,114

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

	(単位：百万円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
四半期純利益	1,027	1,114
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	0
その他の包括利益合計	△5	0
四半期包括利益	1,022	1,115
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,022	1,115
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社グループはドラッグストア事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	707百万円	778百万円

3. その他

(1) 仕入および販売の状況

当社グループは、ドラッグストア事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいことから、ドラッグストア事業における部門別及び地域別の仕入及び販売の状況を記載しております。

① 仕入実績

当第1四半期連結累計期間における部門別仕入実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ヘルス	4,396	14.6	4,524	13.6	+2.9
ビューティ	3,847	12.7	4,397	13.2	+14.3
ホーム	6,675	22.1	7,622	22.8	+14.2
フード	15,260	50.6	16,789	50.4	+10.0
合 計	30,180	100.0	33,334	100.0	+10.4

② 販売実績

イ. 部門別販売実績

当第1四半期連結累計期間における部門別販売実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ヘルス	6,356	17.4	6,461	16.4	+1.7
ビューティ	4,920	13.4	5,257	13.4	+6.9
ホーム	7,710	21.1	8,297	21.1	+7.6
フード	17,582	48.1	19,331	49.1	+10.0
合 計	36,569	100.0	39,347	100.0	+7.6

ロ. 地域別販売実績

当第1四半期連結累計期間における地域別販売実績を示すと、次のとおりであります。

地域別	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
東 北 地 方	36,569	100.0	39,300	99.9	+7.5
関 東 地 方	—	—	46	0.1	—
合 計	36,569	100.0	39,347	100.0	+7.6